

静岡大学附属図書館

図書館通信

-
- | | |
|----------------------|------------------|
| ・新図書館長紹介 3 | ・無人入退館管理システム紹介 |
| ・「としょかんニュース」創刊 3 | 新着図書コーナー新設など 5 |
| ・NACSIS-Webcatサービス 4 | ・幕末明治期古写真展開催など 8 |
-

館長に就任して

附属図書館長 杉田 泰一

最近数年来、公共図書館の協議会のメンバーに名をつらねてきたが、図書館に対する地域市民の期待がますます高まっているようである。国際・情報・高齢化のこうした時流のなかで、地域市民の多様なニーズにいかに応え、生涯学習の拠点としていかに行き届いた図書館サービスをするか、公共図書館ではこうした問題が重要な課題になっている。そのために、気楽に立ち寄れる図書館、利用しやすい図書館、利用者の要求に即座に応じられる図書館をめざして図書館の新設、既存施設の改装や購入図書の精選、貸出手続きの簡略化、リクエスト制度の導入などさまざまな努力がなされている。

大学附属図書館には附属図書館としての固有な機能と役割があるので、大学図書館を一概に公共図書館と同じレベルで論じることはできないが、しかしそうはいっても、大学図書館も図書館であるかぎり、公共図書館のように利用者にとって入館しやすい、利用しやすい図書館でなくてはならないし、利用者へのサービスも欠かすことはできない。そのために、特に閲覧室には利用しやすくゆとりのある明るい読書空間が必要である。ところが本学附属図書館の場合には書庫狭隘化の問

題があり、2～3年ぐらいの間に本館・分館ともに書庫が満杯になることが予測されている。このままでいけば閲覧室も圧迫されかねない状況である。書庫増設の概算要求が早期に認められる見込みがない以上、内部努力をする以外に道はない。そのためにも、本館だけでも約16万冊と見込まれる重複図書の整理がどうしても必要になってくる。とくに雑誌類は早急に整理していかなければならないであろう。

図書館はまた、活用されてはじめてその本領を発揮する。多くの学生が気軽に図書館を活用しうするためには、閉架書庫の貸出手続きの簡略化とともに学生用図書の充実も欠かせない。そのために本学では平成8年度より指定図書制度を廃止し、むしろ学生用図書の推薦制度を強化した。この強化は、学生の日ごろの勉学に資するために、講義内容に関係する参考文献などを積極的に選定し、基本的な学生用図書の充実をはかる目的でなされたものであるから、開架閲覧室に配架する学生用図書を、学生諸君がおおいに活用することを期待する。

これからの大学は開かれた大学として地域社会の生涯学習教育に積極的に関わってい

かなければならない。それが時代の要請でもある。そうであるからには本学の附属図書館もその一翼を担っていかなければならない。むしろそれは今後ますます情報化される社会のなかで大学図書館が果たしていかなければならない役割かも知れない。

そのほか図書館には、電子化への対応など、

なすべき仕事が山積している。幸い久保前館長のもとで綿密に立案された本学附属図書館の「将来構想」(図書館通信 No 118)があるので、この「将来構想」をわずかながらでも実現すべく努力していかなければならない。それがまた私に課せられた任務でもあろう。

(教育学部社会科教育教授)

図 書 館 の 人 々

久 保 靖

(前附属図書館長)

1993年頃のことだったが、天然水中のアルミニウムイオンの溶存状態に関する文献を調べていた時、合衆国政府1967年発行の Geological Survey Water-Supply Paper の一つを見る必要が生じた。土壤学に関係するので農学部図書室に行ったら、その種の資料は既に本館に移したと言う。本館で対応してくれたやや年配の女性職員は、「それならあの辺にあった」といとも簡単に言って、茶色に変色した冊子類が詰込まれた書棚に案内してくれた。そしてかの資料は確かにそこにあった。こんな特殊なしかも古い資料に、本学図書館でこんなに簡単に到達しえようとは実のところ全く期待していなかったもので、望外の喜びがあった。そして、年期が入っているにしても、図書館員とはなんと特殊な才能をもつものであろうかと驚いたのである。その後1995年7月に図書館長を拝命しこの度2年間の任期を終えたが、あの時の図書館員はどなたであったか、やくざな頭はついに思い出すことが出来ず、まことに恩義知らずで申し訳ない。

情報化社会と生涯学習社会の到来によって、大学附属図書館の役割もより注目されるようになったのは喜ばしいことである。しか

し、やたら進歩する情報処理技術やコンピュータ技術によって、万事年期を入れる余裕がなくなった。こんな中で“人間データベース”の存在基盤は失われつつあるかも知れない。今の時代、情報リテラシがないのも困るが、それだけがあるというのも何やら中身のない箱のようで、一朝事あった時サバイバルに困りはしまいかと心配である。そんな大げさなことでなくとも、停電になったらお手上げだ。

しかし、電気が来ている限り、図書館電子化による恩恵は計り知れないものがある。膨大な情報生成の前に、私の材料学研究もコンピュータ情報検索やILLなしでは出来ないだろう。図書館の電子情報化は時代の趨勢だが、本学図書館員もそんなことは先刻承知である。さすが本を相手にする人々で、その博識には端倪すべからざるものがある。しかし、たいへん控え目な人柄のためか、その知識を積極的に生かしてくれないのが残念なところだ。漱石の“偉大なる暗闇”を思わせる。生半可な知識で無理して旗を振ってきた前館長の感想である。

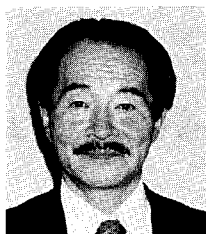
図書館の人々の性向として、他の事務系職員と比べ愛想には乏しいようだ。この点、我々教員と似ている。これをサービス精神の乏

しさと誤解されないように願いたい。図書館長として初めて接した時、自分は歓迎されざる存在かと思ったが、考えて見れば、法の番人ならぬ本の番人があまり愛想良くても、ちゃんと本の管理をしているのかとかえって不安になるではないか。ただ、この中に一人の

愛想良しが存在すれば、さながら鶏群の一鶴のごとく印象に残ることは間違いなく、私も学生時代にそんな記憶を持つのである。

1997.9.5 記
(工学部物質工学科教授)

新図書館長紹介



附属図書館長 杉田 泰一 (教育学部社会科教育教授)

生年月日 1937 年 11 月 16 日

最終学歴 東北大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学

専門分野 実存哲学、解釈学

主な業績

- ・ハイデggerにおける存在と人間存在とのかかわりについて (日本哲学会論文集.1968)
- ・新カント派と生の哲学 (北樹出版.1989)



附属図書館浜松分館長 渥美 邦夫 (工学部システム工学科教授)

生年月日 1935 年 8 月 14 日

最終学歴 静岡大学工学部卒業

専門分野 化学工学、システム工学

主な業績

- ・回転円筒型ダイナミックフィルターにおける透過および貫流ないろ室内流動におよぼす邪魔板の影響 (化学工学論文集.1990)
- ・固定層集塵の経時変化に伴う集塵率の低下 (粉体工学会誌.1995)

としょかんニュース 創刊

図書館では、広報活動を充実するため、1970 年 (S.45) から発行している「図書館通信」に加えて、7 月より毎月 1 回「としょかんニュース」の発行を始めました。図書館についての様々な情報をより早く、より読みやすい形で提供していきたいと考えています。主に教職員の方々に配布するほか、各学部にも提示しますので是非ご覧下さい。図書館のホームページでも公開しています。

「としょかんニュース」についてご意見等ございましたら、次の所にご連絡下さい。

e-mail: citosho@ipcs.shizuoka.ac.jp

内線 2803 (担当：石原)

NACSIS-Webcat の試行サービス開始

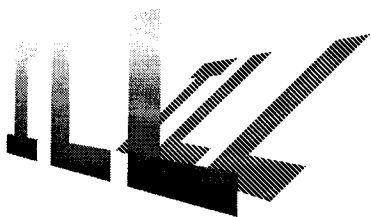
(全国大学総合目録)

学術情報センターが提供する NACSIS-CAT = 総合目録データベース (全国の大学・研究機関等が所蔵する図書・雑誌などの目録・所在情報) が、NACSIS-Webcat としてインターネットで公開されました。見やすい画面でいつでも、どなたでも利用できます。

URL は、 <http://webcat.nacsis.ac.jp/> です。

静岡大学附属図書館のホームページ (世界の図書館へのリンク) から接続できます。

＜学外への文献複写と現物貸借が
できます。＞



当館で所蔵しない資料は、図書館間相互利用 (ILL) により、他機関へ文献複写や現物貸借を依頼することができます。

申し込みは、参考調査係です。

相互貸借にかかる経費は、受付館が国立大学の場合次のとおりです。

☆複写 1 枚 (35 円) + 郵送料

☆借受 往復の郵送料 (簡易書留・書籍書留)

《 注 意 》

文献を入手するまでには、通常 1 週間位かかります。依頼した受付館の事情もあって日数がかかる場合もありますので、時間的に余裕をもって依頼してください。

《 申し込み法 》

所定の＜学外への文献複写依頼書＞及び＜相互貸借申込書＞に注意事項をよく読んで記入してください。

確実・迅速に文献を入手するためには、文字は読みやすく正確に記入することは勿論ですが、学術情報センターの NACSIS-CAT の「書誌 ID」を備考欄に記入してください。

「書誌 ID」は次の資料でご確認ください。当館の所蔵の有無も確認できます。

★雑誌★ 「学術雑誌総合目録」、NACSIS-Webcat

★図書★ NACSIS-Webcat

☆1987年以前の出版物については所蔵館があっても NACSIS-Webcat に登録されていない場合がありますので次の目録でも調べるようにしてください。

和書：「国立国会図書館」（冊子体）、「J-BISC」(CD-ROM) 等

洋書：「新収洋書総合目録」（冊子体）等 (詳細は参考調査係へ)

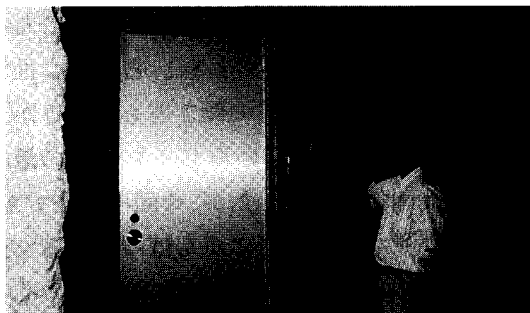
図書館発見

=図書館の施設や資料の再発見=

自然科学系外国雑誌閲覧室（本館） は24時間利用出来ます

本・分館では、研究者へのサービス向上の一環として、24時間利用を可能とするため、無人入退館管理システム（カードロックシステム）を設置し、右記のとおり運用しています。

このシステムにより、夜間や休日など図書館が閉館中でも「特別利用カード」を使用する事で、資料を閲覧したり複写したりすることが可能です（ただし館外貸出は不可）。次の要領で運用しておりますので是非ご利用下さい。



本館3階無人入退館用出入り口

本館

平成2年11月から稼働

◆利用資格：本学専任教官

◆申込先：情報管理課総務係
(内線2804)

◆利用内容：

- ・3階自然科学系外国雑誌閲覧室
- ・数学関係中心に約300タイトル配架
- ・閲覧と複写（校費用コピーカードが必要）

浜松分館

昭和58年7月から稼働

◆利用資格：本学専任教官

◆申込先：管理運用係（内線3501）

◆利用内容：

- ・2階雑誌閲覧室
- ・閲覧と複写（校費用コピーカードが必要）

本館からのお知らせ

☆ 新着図書コーナー新設

5階開架閲覧室に、新着図書コーナーを設置しました。新しく受け入れした図書はここに配架いたしますのでご利用下さい。また、この書架前に投書箱を移設しました。図書館に対するご意見だけでなく、購入希望図書のリクエストもOKです。

☆☆ AVコーナーを模様替えしました

現在本館ではビデオテープ約400巻、CD・LD約100枚を所蔵しております。9月より利用し易くするためテープ等とデッキを3階AVコーナーにまとめて配置しましたので、自由に取り出してご利用ください。（館内利用のみ）

その際利用状況把握のため、使用簿に記入をお願いします。歴史物・文化的なもの・映画等ありますので、勉強の疲れを癒してみたいかがででしょうか。

夏の研修で得たもの ～大学図書館職員長期研修報告～

荃田 美保子

子供たちが夏休みを迎える直前に、私は久しぶりに学生生活に戻ったような日々を過ごすことができました。平成9年度の「大学図書館職員長期研修」は、北は北海道、南は鹿児島まで男性22名、女性20名の大学図書館職員が集い、つくば市にある図書館情報大学と、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターを主会場に、7月14日から3週間の予定で開講されました。

この研修は、大学図書館の中堅職員を対象に、学術情報の最新の知識を教授し、職員の資質と能力の向上を図ることを目的として毎年開かれているもので、さまざまな角度から盛りだくさんの講義が用意されています。今年のテーマは何といっても”電子図書館”のようです。不安と期待とを抱いて、つくばへ向かう私に、小5の娘が自分で作った『絶対にさみしくならないおまもり』というのを手渡してくれました。”本当にまいっちゃった時に使うこと”との注意書きを無視してそっとのぞいてみると、これがまた思わず笑ってしまうおまもりで、おかげで元気いっぱい出かけることができました。

さて、つくばに着くと「バスがないのでタクシーで行ってください。」とのこと。思えばつくばではその後も本当によくタクシーを使いました。近くに食事をする所が見当たらず、皆でずいぶんと歩いたりもしました。「朝食何にする?」「夕食は何にしようか?」食事の心配ばかりしている毎日は大変でしたがそれも思い出の一つでしょうか。宿泊施設での合宿のような生活も、最初のうちこそ不便を感じたものの、そのうち知恵を働かせてそれなりの生活を楽しんでしまうもので、今では本当に懐かしい気がします。

3週間も共同生活をしていると自然と仲間

意識も生まれるのでしょうか、別れる頃にはすっかりクラスメートのような気持ちになってしまった研修生たちです。東京での宿泊も終わりに近づいた頃、談話コーナーに集まっている男性達を見つけた女性陣、すっかり少女に戻ってしまってガラス越しに遠くから懸命に手を振るのですが、男性達は気がつかないのか、それとも見て見ぬふりをしているのか、まったく反応してくれません。案の定翌日「中年の男は恥ずかしくて手なんか振れないよ。」とのお言葉、あたりまえかもしれませんが。そんなシャイな殿方たちもいざという時には、優しく頼りがいのあるナイスガイに変身、しっかりリードをしてくれて、さすがとの声しきり。そんな男性の中からこんな声も聞かれました。「もしも、もっと女性管理職が生まれたら、男の働き方も変わるかもしれないな。」そう、いみじくも研修の最終講義は女性学の話でしたが、今回の研修でも、子育てをしながら本当にがんばっている女性たちにたくさん出会いました。みんなまじめで、真剣で、エネルギーで、そして肩肘はらずに自分の時間を楽しむ余裕も持っている素敵な人達です。そんな女性達と知りあえたことも、今回の研修の収穫のひとつです。

その他、新しい図書館をイメージさせてくれた講義や、理論的裏付けをしてくれた講義はもちろんのこと、見学機関でも新しいものと古いものそれぞれに感じるものがありました。新鮮な刺激を与えてくれた夏の研修、帰って見ると家では子供たちと父親とがすっかり仲良くなっていました。思わぬ副産物も得て私にとってはとても有意義な3週間となりました。みんなに感謝!

(附属図書館洋書係)

教官著作寄贈図書一覧

*このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。受入期間は平成9年4月から7月です。

なお、所属は受入当時の所属を示します。

今回はすべて本館受入分です

◇阿部勝巳(理学部)・池谷仙之(理学部)

・太古の海の記憶：オストラコダの自然史 東京大学出版会【457.85/I35】

◇岩井淳(人文学部)

・千年王国を夢見た革命：17世紀英米のヒューリタン 講談社【233.052/193】

◇上原信博(名誉教授)

・現代日本資本主義における農業問題 御茶の水書房【611/U36】

◇重松宗育(人文学部)

・禅の贈りもの 法蔵館【188.8/Sh28】開架

・閉架

・モモも禅を語る 筑摩書房【188.8/Sh28】

開架・閉架

・野性の実践 <共訳> 東京書籍【934/Sn】

開架・閉架

・アリス、禅を語る 筑摩書房【188.8/Sh28】

開架・閉架

・星の王子さま、禅を語る【188.8/Sh28】開架

・A Zen forest : sayings of the masters.<訳> Weatherhill.【188.84/Z3】開架

・A Zen harvest : Japanese folk Zen sayings : haiku, dodoitsu, and waka. <訳> Weatherhill.【188.8/Sh28】開架

・Zen haiku : poems and letters of Natsume Soseki.<訳> Weatherhill.【911.36/N58】開架

◇杉田泰一(教育学部)

・現代の思想 <共編> 金港堂【104/Su46】

・美と永遠回帰 (平凡社ライブラリー 179 ニーチェ 1) <共訳> 平凡社【080/H51/S179】

◇松田禎二(名誉教授)

・古典ギリシアの人間観 行路社【131/Ma74】

図書館では学内関係者が執筆した図書資料を収集しています。
出版されましたら是非、図書館にご恵贈くださるようお願いいたします。

図書館の動き

平成9年度第1回図書館委員会

(平成9年6月27日(金) 於：図書館会議室)

議 題

1. 平成9年度図書館事業について
2. 平成9年度図書館予算について
3. 平成9年度学生用図書購入費の配分について

報告事項

国立大学図書館協議会総会について

第44回(平成9年度)国立大学図書館協議会総会

(平成9年6月25日(水)～26日(木) 於：京都大学)

図書館長、事務部長、情報管理課長が出席し、1日目全体会議の後、予算・人事及び運営・サービスの2つの分科会に別れて討議し、2日目には研究集会及び分科会の取りまとめ等が行われた。

第51回(平成9年度)東海地区大学図書館協議会総会・研究集会

(平成9年7月10日(木) 於：浜松医科大学)

情報サービス課長が出席し、平成8年度事業報告の後、平成9年度事業計画及び予算について協議した。なお、午後は藤野幸雄図書館情報大学副学長(附属図書館長)による講演「図書館の歴史から学ぶもの」が行われ、活発な意見交換が行われた。

人 事 異 動

平成9年6月30日任期満了

久保 靖(附属図書館長)

石井 仁(附属図書館浜松分館長)

平成9年7月1日就任

杉田 泰一(附属図書館長)

渥美 邦夫(附属図書館浜松分館長)

図書館「秋の行事」のお知らせ

幕末・明治期古写真等資料展

～忘れられた日本の風景、風俗～

附属図書館では、このたび「幕末・明治期古写真等資料展～忘れられた日本の風景、風俗～」を開催することになりました。これは長崎大学附属図書館が所蔵する幕末から明治にかけて日本で撮影されたオリジナル写真のコレクションをパネル化して公開するものです（74点）。被写体の主なものは、東京、横浜、京都、奈良、神戸、長崎などの都市の風景、名所、建造物、人物、風俗で、わたくしたちの約100年前の生活風景を垣間見ることができる貴重な資料です。また、静岡県下田出身で写真術の開祖といわれる下岡蓮杖の撮影した写真（13点）、グラバー図譜「日本西部及び南部魚類図譜」（8点）、静岡大学の昭和24年から昭和41年頃の写真（5点）も同時に展示します。開催日時及び場所は以下の通りです。

【入 場 無 料】

開催日時 平成9年11月5日（水）～11月12日（水）
 10:00～17:00（11月12日のみ12:00で終了）
開催場所 静岡大学 大学会館3階ホール

主 催 静岡大学附属図書館 国立大学図書館協議会
資料提供 長崎大学附属図書館 豆州下田郷土資料館

～ 著 作 権 講 演 会 ～

「マルチメディア、大学関係等の著作権」についての講演会を下記の通り開催します。
 教職員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

日 時 平成9年11月26日（水） 14:00～16:00
場 所 大学会館 1階研修室
講 師 川上拓美氏（文化庁著作権課長補佐）
対 象 静岡大学教職員